



2008年10月22日  
独立行政法人海洋研究開発機構

## 地球深部探査船「ちきゅう」のアジマススラスタースタター修理工事と今後の予定について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)の運用する地球深部探査船「ちきゅう」は、本年2月から4月にかけて実施した中間検査工事等の際、アジマススラスタースタター(船位保持のための360°回転可能な推進機)のギア損傷が判明し、長崎県佐世保湾内にて修理準備等のため停泊していましたが、本日より佐世保重工業株式会社佐世保造船所において修理工事を開始しました。

修理工事の予定は以下の通りです。

- 平成20年10月22日 佐世保造船所岸壁着岸 準備工事開始
- 平成20年10月26日 ドライドック工事(後部2基のアジマススラスタースタターギア交換)  
～11月14日
- ドック出渠後、確認試験を実施し、神戸に回航。
- 平成20年11月19日 神戸港着予定
- ～平成21年2月下旬 神戸港岸壁における工事(残り4基のアジマススラスタースタターギア交換)
- 平成21年3月上旬 海上試験で確認後、修理工事完了予定。

平成21年3月中旬から「ちきゅう」は紀伊半島沖の熊野灘において機器確認、試験掘削等を実施し、その後IODP(※統合国際深海掘削計画)によるライザー掘削を開始する予定です。

※統合国際深海掘削計画(IODP: Integrated Ocean Drilling Program)

日・米を主導国とし、平成15年(2003年)10月から始動した多国間国際協力プロジェクト。現在、欧、中、韓の21ヶ国が参加。日本が建造・運航する地球深部探査船「ちきゅう」と、米国が運航する掘削船を主力掘削船とし、欧州が提供する特定任務掘削船を加えた複数の掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏等の解明を目的とした研究を行います。

お問い合わせ先:

独立行政法人海洋研究開発機構  
(本内容について)  
地球深部探査センター  
企画調整室長 田中 武男

(報道担当)

経営企画室  
報道室長 村田 範之